

警告

■ 普通充電ケーブルのお手入れについて

汚れたときは固くしぼった布で汚れをふき取ったあと、乾いた布でから拭きしてください。

なお、水洗いは絶対に行わないでください。普通充電ケーブルを水洗いすると、充電時に火災や感電事故が発生し、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 長期間普通充電ケーブルを使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。電源プラグやコンセントにほこりがたまり、過熱や発火の原因となります。

また、普通充電ケーブルは水気がない場所で保管してください。

充電リッド・普通充電コネクタの施錠・解錠

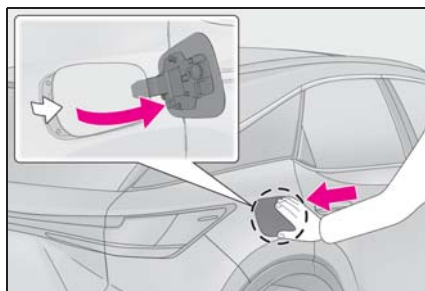
スマートエントリー&スタートシステムまたはワイヤレスリモコンで充電リッドの施錠・解錠、普通充電コネクタの解錠をすることができます。(→P.180)

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しない場合は、メカニカルキーを使用してください。(→P.593)

充電リッドを施錠・解錠するには

■ 解錠するときは

- 1 スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンなどでドアを解錠する
- 2 充電リッドの後辺中央部（図に示す位置）を押して充電リッドを開く



■ 施錠するときは

充電リッドを閉めてからスマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンなどでドアを施錠すると、充電リッドが施錠されます。

知識

■ 解錠操作のセキュリティ機能

ドアのセキュリティ機能で施錠された場合、充電リッドが閉まっていれば、連動して充電リッドも施錠されます。

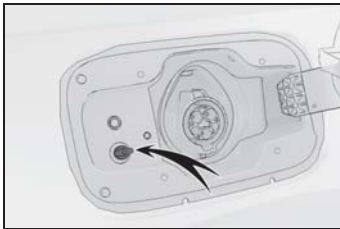
(→P.182)

■ 充電リッドの施錠について

車両のドアを施錠したあとに充電リッドを閉めても、充電リッドは施錠されません。その場合は、充電リッドを閉めてから再度、ドアを施錠する必要があります。

■ リッドリフターについて

充電リッドを閉める前に、リッドリフターが押し込まれている状態だと、充電リッドが閉まりません。その場合は、ドア解錠状態でリッドリフターを押し上げて飛び出している状態にしてから、充電リッドを閉めてください。



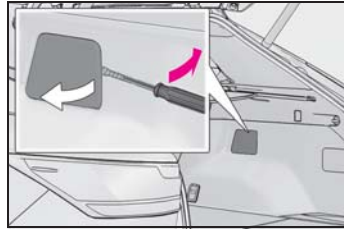
■ 充電リッドが開かないとき

通常の手順で充電リッドが開かない緊急時は、次の方法で充電リッドを開けることができます。

- 1 バックドアを開ける (→P.188)
- 2 ラゲージルーム内の図に示すカバーをマイナスドライバーを使って取りはずす

カバーを取りはずすときは、傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端

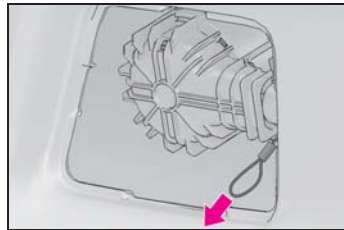
に布などを巻いて保護してください。



- 3 緊急解除ケーブルを矢印の方向に引く
※

充電リッドが解錠されます。

※ 必ず矢印の方向に操作してください。矢印の向き以外に力をかけると、緊急解除ケーブルが損傷するおそれがあります。



- 4 充電リッドの後辺中央部を押して、充電リッドを開く (→P.81)

この解錠方法は、緊急時の一時的な対処です。異常が解消しない場合は、すみやかにレクサス販売店で点検を受けてください。

普通充電コネクタを施錠・解錠するには

■ 施錠するときは

普通充電インレットに普通充電コネクタを挿し込むと、自動的に施錠されます。(この設定を変更することができます。:→P.92)

■ 解錠するときは

スマートエントリー&スタートシス


テムやワイヤレスリモコンなどでドアを解錠すると、普通充電コネクタが解錠されます。


普通充電コネクタは接続時に施錠し、ドアを解錠すると解錠するため、普通充電コネクタの施錠・解錠は、ドアの施錠・解錠状態と必ずしも一致しません。

ドアが解錠されている状態で、普通充電コネクタが施錠されている場合は、次の操作で解錠できます。

- ・ スマートエントリー&スタートシステムを使用する場合は、一度ドアを施錠してから再度解錠操作をする (→P.180)
- ・ ワイヤレスリモコンを使用する場合は、解錠ボタンを押してドアの解錠操作をする (→P.180)

■ 普通充電コネクタの施錠・解錠方法を変更するには

センターディスプレイの  画面で、普通充電コネクタの施錠・解錠方法を次のように変更することができます。

- 1 センターディスプレイの  を選択する
- 2 “車両カスタマイズ” を選択する
- 3 “充電” を選択する
- 4 “コネクタロック” を選択し、お好みの施錠・解錠方法に変更する

設定	作動内容
オートロック (デフォルト設定)	普通充電コネクタを接続すると自動で施錠される
オートロック& アンロック	普通充電コネクタを接続すると自動で施錠され、充電終了後は自動的に解錠される ※1,2
OFF	普通充電コネクタのロックシステムを使用しない

※1 オートロック後に停車などで電源が遮断されると、普通充電コネクタが解錠されます。

※2 オートロック (デフォルト設定) と同様の操作で普通充電コネクタを解錠することもできます。

知識

■ 普通充電コネクタの施錠機能について

普通充電コネクタの施錠機能は、普通充電ケーブルの盗難防止を保証するものではありません。また、すべてのいたずら行為に効果を発揮するものではありません。

普通充電コネクタをくり返し抜いたり挿したりすると、システム保護のため、一時的にコネクタの施錠機能が作動しなくなるおそれがあります。その場合は、少し待ってから普通充電コネクタを普通充電インレットに再度挿し込んでください。

■ スマートエントリー&スタートシステムで普通充電コネクタを解錠するとき

ドアが解錠されている状態で、普通充電

コネクタが施錠されているときは、いったんドアを施錠してから再度、解錠操作を行う必要があります。

■ 解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内に普通充電コネクタを取りはずさなかったときは、普通充電コネクタが再度、施錠されます。

■ AC 外部給電システム (→P.131) を使用するとき

普通充電コネクタと同様に、ヴィークルパワーコネクタを施錠・解錠することもできます。

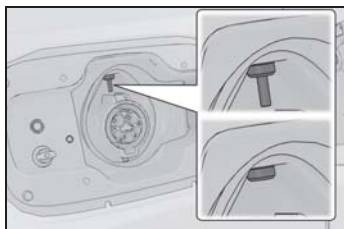
■ 普通充電コネクタの施錠・解錠方法を変更するとき

普通充電ケーブルが車両に接続されているときは、普通充電コネクタの施錠・解錠方法を変更できません。

■ 普通充電インレットに普通充電コネクタを挿し込めないとき

コネクタロックピンが下がっていないか確認してください。

コネクタロックピンが下がっている場合は、コネクタロックが作動しています。スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンなどでドアを解錠してコネクタロックを解錠し、コネクタロックピンが上がっている状態にしてください。



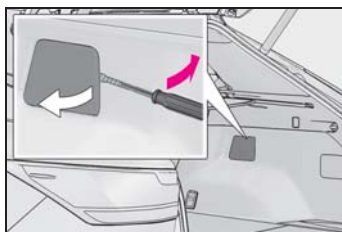
■ 普通充電コネクタを解錠できないとき

通常の操作で普通充電コネクタを解錠

できないときは、コネクタロック緊急解除レバーを操作して、普通充電コネクタを解錠することができます。

- 1 バックドアを開ける (→P.188)
- 2 ラゲージルーム内の図に示すカバーをマイナスドライバーを使って取りはずす

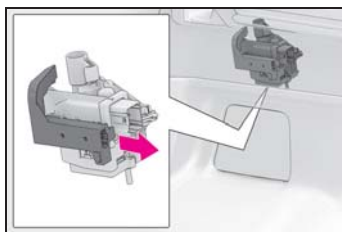
カバーを取りはずすときは、傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



- 3 緊急解除レバーを矢印の方向に動かす
※

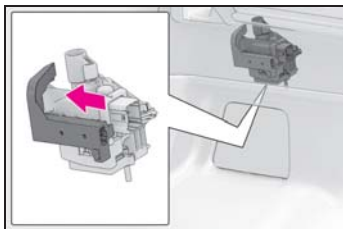
普通充電コネクタが解錠され、普通充電コネクタの取りはずしが可能になります。

※ 必ず矢印の方向に操作してください。操作し始めた際に“カチッ”という音がしても、緊急レバーが動かなくなるまで動かしてください。また、矢印の向き以外に力をかけると、コネクタロック緊急解除レバーが損傷するおそれがあります。



コネクタロック緊急解除レバーを操作した後は、「カチッ」と音が鳴るまで押し

戻してください。



4 カバーをもとどおりに取り付ける

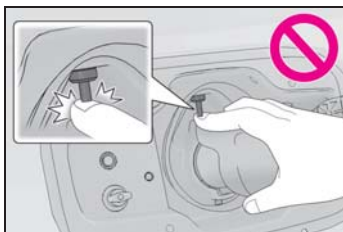
この方法は、緊急時の一時的な対処です。異常が解消しない場合は、すみやかにレクサス販売店で点検を受けてください。

通常の操作で普通充電コネクタを解錠できるときは、緊急解除レバーを操作しないでください。

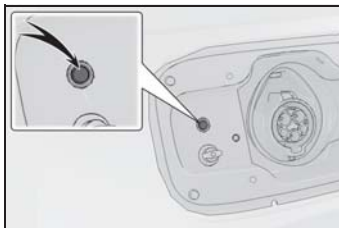
警告

■ 普通充電インレットに普通充電コネクタを接続するとき

- コネクタロック部に手を入れないでください。コネクタロックピンに挟まれ、けがをするおそれがあり危険です。



- 充電リッドロック部にふれないようにご注意ください。コネクタロック作動時、充電リッドロックピンも作動するため、手にあたり、けがをするおそれがあり危険です。



注意

■ 普通充電コネクタを施錠するとき

次のことをお守りください。お守りいただかないと、コネクタロックシステムの故障の原因となります。

- 普通充電コネクタがこの車両に適合していることを確認する
異なるタイプの普通充電コネクタや、挿入部が破損・変形した普通充電コネクタなどは、施錠できない可能性があります。
- 普通充電コネクタを施錠したあとは、普通充電コネクタに無理な力をかけない
普通充電コネクタを取りはずすときは、必ずコネクタロックを解除してください。